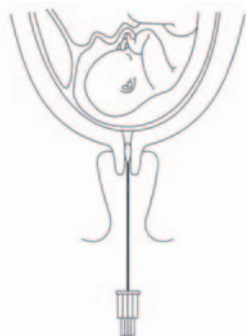


●子宮頸管粘液中 顆粒球エラストラーゼの採取説明

正しい採取位置



●注意事項

- 注1) 子宮頸管部より採取して下さい。
- 注2) 検体採取は腔部洗浄前に行ってください。
- 注3) 綿棒が外子宮口周辺の分泌物や粘液に接触しないようにして下さい。綿棒の先が初めて接触する部分が頸管内腔であるように挿入して下さい。
- 注4) 綿棒1回転あたり約5秒をかけ、自然に粘液を浸みこませるようにして下さい。少量の固形物が付着した場合には、接子等で取り除いて下さい。
- 注5) 採取した検体は15分以内に抽出作業を行ってください。








1. 子宮腔部の粘液を綿球で丁寧に拭いとります。
2. 綿球を子宮頸管内腔に挿入します。(注3参照)
3. 綿棒をゆっくりと2回点させ、頸管粘液を採取します。(注4参照)

「ご注意」

検体採取時に無理な力がかかると、綿棒が折れる可能性がありますので、十分ご注意ください。

「抽出方法」

<p>①</p>  <p>抽出液の入った抽出容器の青色キャップをはずします。</p>	<p>②</p>  <p>頸管粘液を採取した綿棒を浸けて、2～3分間放置します。 その後、綿棒を20～30回細かく上下させて検体を抽出します。</p>	<p>③</p>  <p>綿棒に浸み込んだ検体抽出液を抽出容器ごと指で押しつぶす等して絞り出した後、綿棒を取り除きます。</p>
<p>④</p>  <p>フィルターをセットします。</p>	<p>⑤</p>  <p>検体抽出液を検体保存容器へ濾過します。この時の加圧は1回のみとし、5～7滴(約300μL)を分取します。 必要量が得られない場合は検体採取からやり直して下さい。 検体保存容器に白色キャップをして保存します。冷蔵(8$^{\circ}$C)で3日以内、冷凍(-15$^{\circ}$C以下)で3カ月以内に測定して下さい。</p>	